

### 「宣教者パウロの使命」

(ローマ15・14～21)

#### 一、パウロは感觸を挿んだ

14節を見てまいります。私の兄弟たちよ。あなたがた自身、善意にあふれ、あらゆる知識に満たされ、互いに訓戒し合うことができる。この私も確信しています。とあります。14節の文言より、パウロは親しみと信頼の思いを込めて、語ったと受け取ることが出来ます。ローマに興された教会は、様々な問題を抱えています。異邦人キリスト者とユダヤ人キリスト者の軋轢も然る事ながら、野菜しか食べない信者がいたかと思えば、曆にこだわる信者もいました。さらに異邦人キリスト者の中に、ユダヤ的なものと聖書(旧約聖書)をないがしろにする傾向にありました。そこでパウロは、キリスト・イエスはユダヤ人として生まれられた神であり、それは聖書に預言されていたことであつたと語ることによって、キリスト教会とユダヤ人、そして聖書とのつながりに自覚めるように諭しました。こうして必要なことを語った。パウロは、「これで大丈夫だろう。今後は、信者同士が切磋琢磨して、教会を建て上げて行くことができるであらう」と感觸を得たものと思われれます。それが14

節です。

#### 二、祭司としての働き

15節後半より16節を見てまいります。私は、神が与えてくださった恵みのゆえに、異邦人のためにキリスト・イエスに仕える者となつたからです。私は神の福音をもって、祭司の務めを果たしています。それは異邦人が、聖靈によつて聖なるものとされた、神に喜ばれるささげ物となるためです。とあります。パウロは、自分の働きが、異邦人のための祭司の働きであつたと語っています。二つの理由が考えられます。一つは、パウロがすべてのことを聖書から捉え、考えていたからです。何をすることも聖書を基にして考えていたということです。相手が非ユダヤ人であらうが、そんなことは関係ありません。聖書は信仰の土台です。もう一つは、聖書から自分たちの信仰を考えない非ユダヤ人のキリスト者に対する教育的な意味合いです。

私は神の福音をもって、祭司の務めを果たしています。とは、どういうことでしょうか。祭司の役割は、聖なる神から離れている罪のために神に近づけない人たちを、罪を贖ういけにえをもって、神との関係を正常化する務めです。罪の贖いは、全人類の罪のために贖いの死を遂げられたイエス・キリストによつて、すでになされました。人がなすべきことは、ユダヤ人であらうが異邦

人であらうが、キリストの贖いを信じ受け入れて、方向転換をすることです。この新しい契約をパウロは、主にあって誇りとして受け止めています。それが17節です。このことばの強調点は私は誇りを持っています。と言いますのは、17節を元のテキストの順番に並べ替えますと次のようになるからです。ですから、私は誇りを持っています。キリスト・イエスにあって、神への奉仕について。と。

#### 三、宣教者パウロの働き

18節をご覧ください。私は、異邦人を従順にするため、キリストが私を用いて成し遂げてくださったこと以外に、何かをあえて話そうとは思いません。とあります。まさしく、パウロは異邦人をキリストの救いに導き入れるために、神からの召しをいただき、神の恵みによつてその務めを果たしました。パウロが異邦人伝道に舵を切つたのは、同胞であるイスラエル人を見捨てたのでありません。神のご計画によつて、まず異邦人の時があり、多くの異邦人が救われた後に、イスラエルがみな救われるからです。それはパウロにとつて、主にある誇りでもありました。続いて、18節の終わりから19節を見てまいります。キリストは、ことばと行いにより、また、しるしと不思議を行う力と、神の御霊の力によつて、それらを成し

遂げてくださいました。こうして、私はエルサレムから始めて、イルリコに至るまでを巡り、キリストの福音をくまなく伝えました。とあります。18節の「キリストは、ことばと行いにより、」ですが、「ことば(ロゴス)」は、だれが語つた何のことばでしょうか。使徒です。新共同訳とフランススコ会訳は、読者が読み取らないために「わたしの」を補足して「わたしの言葉」としています。続く「行い」は、だれの行いででしょうか。説教に伴うしるしのことです。次に19節の「また、しるしと不思議を行う力と、神の御霊の力によつて、それらを成し遂げてくださいました」ですが、こちらの主語は「キリスト」です。では、「しるしと不思議を行う力」「神の御霊の力」とは、何なのでしょう。それは、人々がキリストを信じて救われることでした。20節を見てまいります。「15・20」これが、使徒として召された宣教者パウロの使命でした。その理由として、イザヤ書52章の主のしもべについての預言の箇所から引用して、21節で語っています。「15・21」 「彼」とは、主のしもべであり、キリストです。「彼の」とを告げられていなかった人々」とは、異邦人のことです。その異邦人に知らせるのはだれでしょうか。イザヤ書において、主のしもべであり、キリストです。パウロはこの聖句を、キリストのしもべである自分になぞらえています。